

事業報告書

(平成28年度)

社会福祉法人 相模翔優会

特別養護老人ホーム ル・リアンふかみ

<目 次>

はじめに	3
1 法人運営について	4
理事会・評議員会開催状況	4
2 特別養護老人ホーム	5
(1) 利用者の状況とサービスの提供	5
(2) 介護サービス課 総括	8
(3) 各ユニット報告	8
(4) 短期入所生活介護	13
(5) 利用者の健康状況	14
(6) サービスの質の向上	16
ア 相談課報告	16
イ 機能訓練	17
ウ 食事の状況	17
3 委員会報告	18
(1) 安全衛生委員会	18
(2) 介護サービス委員会	18
ア 食事・栄養	18
イ 排泄	19
ウ 入浴	20
エ 感染症・褥瘡予防	20
(3) 人権擁護	21
(4) 総務委員会	22
ア 防災	23
イ 物品	23
(5) 施設活動委員会	23
ア 研修	23
イ 行事企画	29
ウ ボランティア活動	30
4 職員関係	31
(1) 職種別配置構成	31
(2) 資格取得構成	31
(3) 実習・見学・講師派遣	32

は じ め に

ル・リアンふかみ

施設長 小 泉 昇

平成28年度の事業実績については、上半期の長期入居者の長期入院の増加と短期入所部門の稼働率低下が続き、前年を下回る実績となっておりましたが、下半期に関係機関との助言をいただきながら改善に努めたことにより、短期入所部門につきましては90%を超える稼働を維持するなど下半期の実績は安定した実績を示すことができました。平成29年度はこの実績を維持を目指していきます。実績の向上につきましては、職員間で稼働率に関する意識改革が定着してきたといえます。しかし、介護サービスに関しましては、県の監査指導から過去の不適切な介護に関する報告がなされていなかったなど、ご利用者への人権尊重がなされていない事態がありました。このような事態を招いたことは施設管理者の責任として継続して改善を進めてまいります。平成29年度の事業計画書にお示しいたしました。計画につきましては改善の必要があればその都度早急に対応してまいります。また、今般の介護人材不足の問題は当施設もその影響は大きく、人材の不足による介護サービスの低下を招く要因ともなります。このような状況を打開するためには、人材確保と人材定着を改善の第一としていきます。

今年度の事業報告はこのような状況下での報告でございますが、ご利用者の看取り介護が下半期には職員がご家族と看取るケースが多くなってきました。今後はご家族のアンケートから看取り介護の環境や対応をどのように行っていくのが、平成29年度の課題となります。また、夏祭りやバザーなどに地域の方々の参加と協力を得られる機会があるなど、開かれた施設に向けた一歩としていくことができました。最後に平成28年は課題の多い1年でございますが、この反省を平成29年度の大きな改善の一歩として進んでまいります。

1 法人運営について

(1) 理事会開催状況

第1回理事会	平成28年	5月23日
第2回理事会	平成28年	8月4日
第3回理事会	平成28年	8月18日
第4回理事会	平成28年	9月12日
第5回理事会	平成28年	10月15日
第6回理事会	平成28年	10月21日
第7回理事会	平成29年	1月22日
第8回理事会	平成29年	2月6日(評議員参加)
第9回理事会	平成29年	2月15日(評議員参加)
第10回理事会	平成29年	3月23日

理事6名 監事2名

(2) 評議員会開催状況

第1回 評議員会	平成28年	5月28日
第2回 評議員会	平成28年	8月4日
第3回 評議員会	平成28年	10月15日
第4回 評議員会	平成29年	1月22日
第5回 評議員会	平成29年	3月23日

評議員 13名

回	開催年月日	開催	出席者数	承認・決議事項
1	5月28日	理事会 評議員会	理事6名 評議員11名 監事1名	1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度決算報告について 3 平成27年度監事監査報告について
2	8月4日	理事会 評議員会	理事5名 評議員9名	1 資金借入について
3	8月18日	理事会	理事6名	1 資金悪化に伴う収支改善について
4	9月12日	理事会	理事6名	1 資金借入について

5	10月15日	理事会	理事5名 評議員11名	1 重事項説明書の一部変更について 2 居宅介護支援事業所開設について 3 第4期理事会理事選任について 4 第4期理事会監事選任について
6	10月21日	理事会	理事6名	1 理事長選任について 2 ストレスチェック制度実施規程について
7	1月22日	理事会	理事6名 評議員11名	1 社会福祉法改正に伴う定款変更について 2 第一次補正予算について 3 評議員選任・解任委員会設置に伴う委員の選任について 4 居宅介護事業所事業計画・事業予算について
8	2月6日	理事会	理事5名 評議員3名	1 神奈川県監査について
9	2月15日	理事会	理事4名 評議員5名	1 神奈川県監査報告について
10	3月23日	理事会	理事5名 評議員11名 監事1名	1 評議員選任について 2 平成29年度事業計画について 3 平成29年度予算について 4 平成29年度借入金について 5 定款変更修正について

2 特別養護老人ホーム

(1) 利用者の状況とサービスの提供

ア 要介護度別

平成29年3月31日現在

区 分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計 (人)
男	1	3	6	1	3	14
女	0	5	19	30	16	70
計	1	8	25	31	19	84

平成28年11月より退所者が増加しているにもかかわらず、入所申し込み者が枯渇してしまっているのが現状でした、29年2月から3月にかけて申し込み者も増加し、順次面談・契約を済ませ、入所に切り替えています。

イ 要介護度別延人数（平成28年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
要介護2	11	12	12	12	11	9	8	7	7	8	8	8	113
要介護3	25	26	25	24	26	26	27	27	28	25	25	25	309
要介護4	25	25	27	28	28	29	29	30	31	32	32	31	347
要介護5	24	25	23	23	22	24	23	22	21	19	20	19	265
計	87	89	88	88	88	89	88	87	88	85	86	84	1047

ウ 年齢別

平成29年3月31日現在

区分	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳~	計(人)
男	0	3	2	3	5	4	14
女	0	3	7	20	20	20	70
計	0	3	9	23	25	24	84

※平均年齢 86.1歳

最高齢 105歳

エ 入所前状況（平成28年度）

区 分	男	女	計(人)	備 考
在 宅	3	9	12	
グループホーム	0	3	3	
小規模多機能施設	0	0	0	
有料老人ホーム	0	5	5	
高齢者専用賃貸住宅	0	0	0	
老人保健施設	1	6	7	
病 院	0	0	0	
計	4	23	27	

オ 要介護度別新規入所者数（平成28年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護	男性	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

3	女性	0	2	0	0	1	0	0	1	2	0	2	0	8
要介護	男性	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
4	女性	0	0	1	2	2	1	0	1	1	0	1	0	9
要介護	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	女性	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	5
合計		1	3	1	3	3	4	2	2	4	0	4	0	27

カ 退所理由（平成28年度）

	死 亡				長期入院	他施設入居	計
		看取り介護（施設）	看取り介護（病院）				
男性		5	0		5	0	10
女性		14	0		7	1	22
合計		19	0		12	1	32

キ 待機者状況

平成29年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	2	2	9	6	2	21
女性	4	5	16	17	13	55
合計	6	7	25	23	15	76

ク 面会状況（平成28年度）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計（人）
延面会者数	349	314	293	347	315	315	1933
区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
延面会者数	350	332	368	362	337	355	2104
年 間 合 計	4037						

※一日平均 11.06 人

(2) 介護サービス課 総括

<施設行事>

4月1日	お花見
5月4～6日	しょうぶ湯
6月	
7月7日	七夕
8月6日	夏祭り
9月	敬老会
10月29日	バザー
11月	
12月21日	クリスマス
12月28日	餅つき
1月1, 3日	初詣、獅子舞
2月3日	節分
3月2～4日	ひな祭り

(3) 各ユニット報告

<1階青ユニット>

平成28年度目標	① ご利用者のADLに沿った介助の提供に努めます。 ② ご利用者やご家族のご意見、要望に応えられるよう努力してまいります。
取り組み評価	① 麻痺側骨折の事故あり。ご利用者のADL、状態に沿った介助の見直し、周知徹底を行った。 ② 概ね達成出来ました。
反省点と要因	① 介護技術不足、職員間の情報共有が不足していた。 ② ご利用者の介護度が以前に比べ上がったことにより業務にゆとりが出来てご利用者、ご家族とコミュニケーションが図れた。
次年度課題	① 介護技術の向上、隣接ユニットが無いためフロア内での職員間コミュニケーションを図っていく。

行事	11 月お誕生日会（ケーキバイキング） 1 月 外出レク
----	---------------------------------

< 1 階緑ユニット >

平成 28 年度目標	① ご利用者、ご家族とコミュニケーションを取りサービス向上に努めます。 ② ご利用者の個性を尊重し、施設での生活を楽しんでいただけるような余暇活動等の取組みを考えて実行していきます。
取り組み評価	① 概ね達成出来ましたが、新人職員への伝達不足によりご家族に不快な思いをさせてしまった。 ② 概ね達成出来ました。
反省点と要因	① 人員不足により他ユニット応援に行っている間、新人職員が一人になってしまった。 ② ユニット費が出来たことにより余暇活動に充てることが出来た。
次年度課題	① 新人職員への教育の見直し、分からないことがあった場合の確認先など周知徹底する。 ② 引き続きご利用者とコミュニケーションを図りニーズを汲み取っていく。
行事	11 月お誕生日会（ケーキバイキング） 1 月外出レク

< 1 階茜ユニット >

平成 28 年度目標	① 職員同士で情報共有を図り、ご利用者へのサービスの向上に努めます。 ② ケアプランに基づき、個別性のあるサービスを提供していきます。
取り組み評価	① 概ね達成出来ました。 ② 概ね達成出来ました。
反省点と要因	① ユニット固定の職員を中心に情報共有が出来た。 ② 他職種との連携によりご利用者のニーズを汲み取れた。
次年度課題	① 引き続き職員間で情報共有を図っていく。 ② 職員がケアプランを把握し、より良いサービスの提供を目指す。
行事	11 月お誕生日会（ケーキバイキング） 1 月外出レク

< 2階青ユニット >

平成28年度目標	・ご利用者、ご家族が安心して過ごしていただけるような環境づくりに努めます。
取り組み評価	・共同生活室にご家族、ご利用者が観覧できるよう掲示板を作成し施設内で行うアクティビティなどがすぐにわかるようにしました。 ・ご利用者に危険のないよう居室内の配置や保護などを他職種(専門職)と話し合い連携していきました
反省点と要因	・職員間の連携や他職種への情報伝達ができていない事がありました。 ・床や棚などが汚れている事がありご家族から指摘をうける事がありました。 ・職員の離職や異動があり居室担当者が定まらず衣替えや居室内の整理などができていない事があった。
次年度課題	・職員間の意識向上を図り、職員間での気づきを増やし共有していきます。 ・ご利用者、ご家族とコミュニケーションを密に取りつつ反省点を活かし過ごしやすい環境づくりを提供していきます。
行事	1月 尺八、三味線(慰問)

< 2階紫ユニット >

平成28年度目標	①ご利用者一人ひとりの個性を把握し、ご利用者に適したサービスを提供していきます。 ②ご利用者の日々の楽しみを把握し共に考え実践していきます。
取り組み評価	・ご利用者やご家族とコミュニケーションをとり、できる限り要望を聞き取りました。
反省点と要因	要望が聞かれるご利用者への聞き取りは行えていましたが、特に訴えのないご利用者への要望の聞き取りが不十分でした。 ユニット会議が行えず意見交換の場が少なくなっていた。
次年度課題	・ユニット会議を開催し意見交換を行い統一したケアを行っていきます。 ・要望の少ないご利用者とも関わりをもち個々にあったサービスを提供していきます。

行事	1月 尺八、三味線(慰問)
----	---------------

<2階緑ユニット>

平成28年度目標	①職員間の情報共有を図り、統一したケアを行っていきます。 ②ご利用者一人ひとりのニーズや要望に沿って、その人らしく過ごして頂けるよう、ご本人やご家族とコミュニケーションを密に取り、サービス向上に努めます。
取り組み評価	①下欄①の事由等により達成には至らなかった。 ②介助業務全般が煩雑なため、利用者とのコミュニケーションの時間が十分に取れず、達成には至らなかった。
反省点と要因	①申し送りノートを活用し始め、情報の共有はしやすくなりましたが、職員の入替わりもあり、統一には至らなかった。 ②ご家族とは一言メモを導入したこともあり、コミュニケーションはとりやすくなった。ご利用者とはなかなか時間が取れず、十分にニーズを引き出すことができなかった。
次年度課題	・申し送りノートを引き続き活用し、ケアの統一ができるようにしていきます。 ・ご利用者が、その人らしく生活が送れるようコミュニケーションを密に取り、サービス向上に努めていきます。
行事	4月、1月 実鈴会(慰問) 2月 夢の会(慰問)

<2階茜ユニット>

平成28年度目標	・ご利用者にとって、日々の生活を楽しく過ごして頂ける環境づくりを行っていきます。 ・職員間の情報共有を図り、統一したケアを行っていきます。
取り組み評価	・ご本人やご家族との関わりの中で、ご利用者のニーズ把握に努めました。 ・職員が間に入りながら、施設生活の中で行事へ参加して頂く等の楽しみを見つけていただけるような支援を行いました。 ・日常生活動作の中でリハビリを行いADL維持に努めました。 ・他職種と連携し、掲示板を利用し工夫を凝らし情報の共有に努めました。 ・アセスメントに基づき、職員間で情報共有・情報統一を行い安定したケアを提供するよう努めました。
反省点と要因	・ご利用者の間に入り、ご利用者同士の関係性を築く事が出来ず、一部のご利用者間にて歪みが生じる事がありました。 要因として以前よりご利用者間での相性が悪い方がおり、関係を良くする為の声掛けを行うも既に関係性の再構築が難しい環境である為、現段階での環

	境整備は困難と思われる。状況は切迫していない為、トラブルにならないような経過観察が必要と思われます。 ・ 24時間シートの活用を活動方針に挙げたが、書類の作成がまとまらず、現在、関係職員の指導の下、順に活動が開始されています。 ・ 慢性的な人員の不足もあり、ご利用者のニーズ把握は十分には行えませんでした。
次年度課題	・ 個別ケアに基づき、日々の生活を楽しく過ごして頂ける環境づくりを行っていきます。 ・ 職員間の情報共有に努める為に申し送り事項を確認します。
行事	4月、1月 実鈴会（慰問） 2月 夢の会（慰問）

< 3階青ユニット >

平成28年度目標	①職員間での情報共有を図ります。 ②ご利用者が安心して生活できる場を再考し、作るように努めます。
取り組み評価	申し送りノートを通して職員間の情報伝達をおこない、情報共有を図った。 定期的にフロア装飾を変更おこない、ご利用者のADL状態に合わせ、席等の変更を検討した。
反省点と要因	申し送りノートを活用するも職員間の情報共有が上手くできてないことがあり、要因として習慣づけが出来ておらず、抜けていることがあった。
次年度課題	再度申し送りノートを活用する事を徹底し、定期的にリーダーにより職員面談も行う事で把握して職員レベルを上げるよう努める。
行事	特になし。

< 3階紫ユニット >

平成28年度目標	①職員間での情報共有を図ります。 ②ご利用者が安心して生活できる場を再考し、作るように努めます。
取り組み評価	各利用者の情報を職員間で把握し、ご利用者の過ごしやすい環境づくりを行ってきた。
反省点と要因	十分に各職員で情報共有できておらず、職員全体で利用者情報を把握できていなかった。要因として居室担当やリーダー等の担当者以外の関わりが少なく、意識も希薄だった。

次年度課題	各介助の情報共有をし、リーダーにより定期的に職員面談をおこない職員レベルの向上に努める
行事	特になし。

(4) 短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）

< 3階緑・茜ユニット >

平成28年度目標	・年間平均稼働率 95% を目標にし、各居宅介護支援事業所や医療機関等との連携を図ります。また医療依存度の高い方の積極的な受け入れ体制も整えます。
取り組み評価	年間平均稼働率 89.6% 最高稼働月 3月（95.3%） 最低稼働月 10月（75.0%） ① ご利用者やご家族からの信頼の回復のため、忘れ物の減少や個々のニーズの把握に取り組み、年度の終盤は稼働率は上がったものの、目標の95%を超えたのは3月のみでした。 ② 入所の入れ替わりの多いショートステイユニットにおいて、申し送り方法の改善により、介護職員間の情報の共有や、個々のご利用者へのサービス提供の統一を図れるよう取り組むことが出来ました。
反省点と要因	① 忘れ物の件数は減少したものの、依然職員の不注意による防げる忘れ物が発生していることも事実であります。職員の定着により業務は改善されているため、職員個々の確実な業務遂行が必要と考えられます。 ② 要望が明らかなご利用者への対応は向上していけるよう取り組めておりますが、自らの要望が少ないご利用者に対するサービスは改善の余地が残されております。
次年度課題	① 間接業務の標準化を図る事により、職員の意識の向上、不注意による事故の減少に取り組んでいきます。 ② ご利用いただいているすべてのご利用者のニーズに応えられるよう、ご利用者やご家族からの情報収集、他事業所との連携を図れるよう進めてまいります。
行事	誕生会（月1回） ケーキバイキング（週1回） おやつレク（3カ月に1回）

年間延利用日数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男性	3	10	10	8	13	9	13	10	19	20	8	20	143
	女性	52	56	21	32	35	41	67	59	18	12	7	13	413
要介護2	男性	0	32	22	30	25	24	38	31	18	12	6	9	247
	女性	91	97	88	85	84	87	65	65	64	78	77	77	958
要介護3	男性	81	70	57	50	55	46	23	15	6	42	11	11	467
	女性	73	81	81	93	121	80	84	149	163	200	178	167	1470
要介護4	男性	115	97	92	102	93	104	87	87	76	63	51	58	1025
	女性	91	88	111	86	89	79	62	86	127	98	96	131	1144
要介護5	男性	6	4	4	0	0	0	0	2	17	7	3	3	46
	女性	36	19	42	41	40	34	15	57	47	54	82	96	563
要支援1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男性	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
	女性	6	6	3	3	6	0	0	0	0	0	0	0	24
小計	男性	205	213	185	190	193	183	161	145	136	144	79	106	1940
	女性	349	347	346	340	375	321	293	416	419	442	440	484	4572
合計		554	560	531	530	568	504	454	561	555	586	519	590	6512
空所人数		46	60	69	90	52	96	166	59	65	34	41	30	808

新規利用者実人数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	0	1	0	2	2	4	3	2	4	3	4	2	27
女性	1	2	2	3	4	4	7	4	4	5	5	6	47
合計	1	3	2	5	6	8	10	6	8	8	9	8	74

(5) 利用者の健康状況

月別入院者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
男	2	0	1	3	2	3	11
女	2	4	0	4	1	0	11
計	4	4	1	7	3	3	22
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計
男	0	1	0	1	1	0	3
女	1	0	1	0	0	1	3
計	1	1	1	1	1	1	6

入院状況

No	性別	入院月日	症・病名	入院日数	再入所日	備 考
1	男	4 / 1 4	尿路感染	1 5 日	4 / 2 8	
2	男	4 / 1 4	腎盂腎炎	8 3 日	7 / 5	
3	女	4 / 2 4	脱水・腎機能低下			療養型転院にて 5 / 3 退所
4	女	4 / 2 7	イレウス	1 6 日	5 / 1 2	
5	女	5 / 1 6	脱水			療養型転院にて 7 / 3 1 退所
6	女	5 / 1 9	子宮留膿症	7 日	5 / 2 5	
7	女	5 / 2 5	肺炎	2 7 日	6 / 2 0	
8	女	5 / 2 5	左大腿転子部骨折	1 8 日	6 / 1 1	
9	男	6 / 1	誤嚥性肺炎			療養型転院にて 7 / 1 7 退所
10	女	7 / 4	心不全	2 6 日	7 / 2 9	
11	女	7 / 7	肺炎	2 0 日	7 / 2 6	
12	男	7 / 1 0	総胆管結石	7 日	7 / 1 6	
13	男	7 / 1 1	脳出血			療養型転院にて 9 / 2 5 退所
14	女	7 / 1 2	脳出血			療養型転院にて 7 / 3 退所
15	男	7 / 1 4	肺炎	5 1 日	9 / 2	
16	女	7 / 1 9	誤嚥性肺炎			9 / 4 退所
17	男	8 / 1	胆石・大腸癌	5 2 日	9 / 2 1	
18	男	8 / 3 0	誤嚥性肺炎	9 日	9 / 7	
19	女	8 / 2 2	尿路感染・腎不全	5 5 日	1 0 / 1 5	
20	男	9 / 9	肺炎	1 2 日	9 / 2 0	
21	男	9 / 1 6	肺炎	6 0 日	1 1 / 1 4	
22	男	9 / 2 2	吐血	3 0 日	10 / 2 1	
23	女	1 0 / 1	脱水・尿路感染			入院中のまま 11 / 2 4 退所
24	男	1 1 / 8	脱水・食欲低下			入院中のまま 1 2 / 2 退所
25	男	11 / 2 1	誤嚥性肺炎			入院中のまま 1 / 6 退所
26	男	12 / 1 2	膀胱癌手術	1 0 日	12 / 2 1	
27	女	12 / 1 6	誤嚥性肺炎	8 日	12 / 2 3	
28	男	1 / 2 5	誤嚥性肺炎	1 5 日	2 / 8	

29	男	2 / 27	誤嚥性肺炎	23日	3 / 21	
30	女	3 / 18	脱水・腎不全	19日	4 / 5	

疾患別

平成28年3月31日現在

No	系	症・病名	男	女	計 (人)
1	悪性腫瘍		4	4	8
2	精神・脳神経系	精神障害（知的障害含）	3	15	18
3		認知症	7	30	37
4		自律神経失調症	0	0	0
5		パーキンソン症候群	0	4	4
6	消化器系	十二指腸潰瘍	0	1	1
7		肝機能障害	1	2	3
8		便秘症	10	45	55
9	腎機能障害	腎不全	0	3	3
10	心臓・血管系	心疾患・不整脈	3	17	20
11		高血圧症	4	24	28
12		脳梗塞	2	36	38
13	血液・造血系	貧血	0	4	4
14	免疫系	関節リウマチ	1	1	2
15	骨・関節系	骨粗鬆症	0	2	2
16		腰椎圧迫骨折	2	4	6
17		変形性膝関節症	0	1	1
18		脊髄損傷	1	0	1
19		大腿骨頸部骨折	4	13	17
20	内分泌・代謝系	糖尿病	2	7	9
21		高脂血症	1	3	4
22	眼系	白内障	0	5	5
23					
	その他				

認知症・高血圧・心疾患・脳梗塞が多く見られていますが、なかでも半数近い方が便秘症でした。

H28年から精神科の往診がはじまりました。

(6) サービスの質の向上

ア 相談課

平成28年度目標	・ご利用者・ご家族の立場に立ち負担をを生じないように対応する。 ・年間稼働率98%の維持のため、新規利用者の確保と入居までの準備の短縮 ・各課との連携 ・各事業所との連携を図る。
取り組み評価	・各課との連携と入退所判定会議を定例及び随時に行った。 ・入居の面談に関して生活相談だけではなく専門職も同行するようにした。 ・ケアプランの作成については複数で行い、場の意見を重視した作成方法に転換した。 ・事業所への営業活動を行うようになった。
反省点と要因	・上半期は長期入院が多発し稼働率の低下を招いた。 ・制度変更に伴う待機者の減少があり、面談までの時間がかかってしまった。 ・介護支援専門員をフロア単位担当制したが、介護職との連携に戸惑いあった。 ・事業所への営業活動が継続的ではなかった。
次年度課題	・入居者の確保のために課内の連携 ・ケアプランの作成のためのモニタリング及びカンファレンスの機会の確保 ・看護・介護課との連携を密にする。
次年度の取り組み	・利用者状況に応じた入退所判定会議の実施 ・各課の連携会議の実施し、利用者サービスの向上を行う。 ・人権擁護を積極的に取り組む ・第三者委員との相談連携を密にする。

イ 機能訓練

平成28年度目標	ご利用者の身体・精神機能の低下を最小限度に留められるよう、他職種と情報を共有しながら状況を把握していきます。
取り組み評価	看護・介護職と情報を共有しながらご利用者の身体状況を把握する事が出来、その都度個別機能訓練プログラムの検討・変更や環境整備等が来ています。
反省点と要因	福祉用具等の保守管理が円滑に行えていませんでした。 福祉用具等に対する他職種への意識共有が十分に出来ていませんでした。
次年度課題	身体状況の把握が更にスムーズに出来る様、更に連携を密に取っていきます。また福祉用具等の保守管理が円滑に行える様注意を払いながら、介護職員に対しても日常的に意識を持ってもらえる様な取り組みをしていきます。
次年度の取り組み	ご利用者の移乗・移動方法の検討について、各フロアにて随時介護職員と検討の機会を設けられる様にしていきます。

ウ 食事の状況

平成28年3月31日現在

主 食	人数	副 食	人数	療 養 食	人数	備 考
米 飯	23	常 食	11	減 塩 食	18	
粥	47	一 口 大	15	貧 血 食	13	
ミキサー粥	15	刻 み	24	脂 質 異 常 食		
パ ン		極 刻 み	20	E C 食	6	糖尿病
パ ン 粥		ミキサー	15	腎 臓 食		
計 (人)	85	計 (人)	85	計 (人)	37	
経 口 維 持 加 算 Ⅱ				81		

3 委員会報告

ご利用者の生活向上に向けて、各職員が委員会活動を行いました。委員会活動は、委員会ごとの報告としてまとめました。

(1) 安全衛生委員会

平成28年度目標	年間計画にそって委員会を行っていきます。
取り組み評価	不在だった安全衛生管理者が決まり委員会を行うことができました。 産業医の助言やミニ講座があり、勉強になりました。 巡回パトロールの後、汚物室の整理がなされた、今後も環境整備を心がけていきます。
反省点と要因	巡回パトロールで指摘された事がその場だけになっている内容もあるので、継続して行えるようにしていきます。
次年度課題	ストレスのない職場作りをメンバー全員で考えていきます。
次年度の取り組み	年間計画は前年度と同じ内容で行っていきます。

した。

(2) 介護サービス委員会

ア 食事・栄養担当

平成28年度目標	「口から食べること」を通して、ご利用者1人ひとりの栄養状態を適正化し、介護予防や生活援助の質の向上に貢献します。 ・栄養ケア計画書に基づき、利用者の口から食べる楽しみを支援します。 全長期利用者90名に栄養マネジメント加算を算定し、栄養アセスメント、栄
----------	--

	養ケアプランを作成して、実施し、モニタリングします。 ・ご利用者個人の嗜好も考慮に入れながら、適切な嚥下状態、体重変化に応じた食事を提供します。 ・医師と連携し、個別の疾患に応じた療養食を提供します(療養食加算)。 ・歯科医師と連携し、嚥下評価を実施し、嚥下状態に適した食事を提供します。多職種によりご利用者の食事の観察を行います(経口維持加算)。 ケアカンファレンスへ参加し、他職種と連携し、ご利用者の食事面だけでなく、生活面の積極的な把握に努めます。 ・給食委託業者と連携し、季節感を楽しめるような食事を提供します。衛生管理を徹底します。
取り組み評価	施設内の栄養・食事に関する課題を多職種で共有できました。 ②経口維持の課題について積極的に取り組み、多職種で共有できました。
反省点と要因	報告・連絡・相談の連携がスムーズにいかないことがありました。 書式や細かな業務の効率化を検討いたします。
次年度課題	他職種と連携を取りながら、ご利用者のサービスの安定に努め、安心して生活していただけるよう努めます。
次年度の取り組み	5月 食中毒予防勉強会を開催します。 毎月 季節の行事食の提案・提供～掲示物等工夫し、認知度を高めていきます。 その他 食事・栄養・経口維持における課題について取り組みます。

イ 排泄担当

平成28年度目標	・排泄アセスメントの作成、見直しを定期的に行います。 ・排泄ケアの質の向上を目指し、業務の効率化、コストの削減に取り組みます。
取り組み評価	・排泄時のプライバシーに配慮します。 ・適正なアセスメントによりスキントラブルを防ぎます。 ・排泄アセスメントの作成、見直しにより適正な排泄ケアを目指します。 ・正しいオムツの当て方や排泄に関する知識を高める研修を行います。 ・排泄ケアの質を向上させ、物品コストの適正化や業務負担の軽減を目指し、ご利用者と関わる時間を増やせるように努めます。
反省点と要因	・オムツ業者による排泄介助の研修を行いました。その後の評価は行えていない為、介護現場に反映されているかが不明です。 ・他職種の協力によりスキントラブルを引き起こしそうな方やトラブルになってしまった方に対して、適切な排泄ケアが行えました。 ・コスト削減を掲げましたが、この一年排泄物品の発注状況の調査を怠り、現

	在、介護課長と共に排泄用品の発注方法を見直ししております。
次年度課題	・排泄アセスメントの作成、見直しを継続的に行います。 (年 2 回) ・排泄ケアの質の向上を目指します。
次年度の取り組み	・介護課長指導の下、新たな人員配置にて取り組みを行います。適正在庫の管理・棚卸を行っていきます。

ウ 入浴担当

平成 2 8 年度目標	・定期的にご利用者の要望を聞き、ニーズに合った入浴形態の提供を行います。 ・季節感のある入浴行事を企画し、実施します。
取り組み評価	・ご利用者の意向に沿った入浴が実施できました。 ・しょうぶ湯・ゆず湯を実施し季節感を感じて頂きました。
反省点と要因	・ADL 低下によりリフト浴の人数が増えたため、一人一人にゆっくり時間を取ることができませんでした。
次年度課題	・全ての常勤職員が機械浴に対応できるように技術向上に努めます。 ・ご利用者の入浴形態を再検討して、一人一人に合った方法で入浴して頂き、安全・衛生に努めます。
次年度の取り組み	・定期的に物品の確認を行い、購入の提案をします。 ・他部署との連携を密にし、体の異変やけがなどにいち早く対応できるように努めます。

エ 感染症・褥瘡予防

平成 2 8 年度目標	・施設内での褥瘡ゼロを目指し取り組んでいきます。 ・感染症についての知識の向上に努めます。
取り組み評価	・機能訓練指導員と連携を図りご利用者に見合った体位交換を実施していきましました。 ・当施設での感染症対策のやり方を別紙で用意し統一していきましました。
反省点と要因	・人員不足もあり研修に参加できない職員もいました。 ・ご利用者に合った体位交換のやり方が統一されていない事がありました。
次年度課題	・看護師、機能訓練指導員と連携を図り褥瘡予防に努めていきます。 ・内部研修や外部研修に参加し褥瘡・感染の知識、技術向上に努めていきます

次年度の取り組み	・年2回以上の研修の実施。 ・感染症対策物品の管理。 ・12月～3月の職員の検温実施の継続。 ・うがい手洗いの徹底。
----------	---

(3) 人権擁護委員会

平成28年度目標	・ご利用者及びご家族からの要望や苦情への対応を速やかに行います。 ・ヒヤリハットの報告を事故防止に努めるように取り組みます。 ・ご利用者の尊厳を守るケアを行います。身体拘束や虐待と判断される行為を行わないため、意識を広げる機会を設けます。																														
取り組み評価	《苦情解決担当》 ・各階に設置された「皆様の声」に寄せられたご意見は年間通してわずかであり、今年度寄せられている苦情に関しても18件挙がっており、苦情解決第三者委員会で解決に向けた検討の場を3度設ける事が出来ました。 《事故防止担当》 ・毎月人権擁護委員会を開催し、各階で発生した事故要因やその対応策を話し合う事で、他階及び他ユニットでも発生防止のための取り組みや対策を行う事が出来ました。 種類別事故件数 全 308 件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>転倒</td><td>20.5%</td></tr> <tr><td>転落</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>外傷</td><td>51.3%</td></tr> <tr><td>誤嚥</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>誤薬</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>異食</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>離脱</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>トラブル</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>車両</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紛失</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>盗難</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>自傷</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>破壊</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>その他...</td><td>12.7%</td></tr> </tbody> </table>	種類	割合	転倒	20.5%	転落	9.4%	外傷	51.3%	誤嚥	0.3%	誤薬	4.2%	異食	0.6%	離脱	0.6%	トラブル	0.0%	車両	0.0%	紛失	0.0%	盗難	0.0%	自傷	0.0%	破壊	0.3%	その他...	12.7%
種類	割合																														
転倒	20.5%																														
転落	9.4%																														
外傷	51.3%																														
誤嚥	0.3%																														
誤薬	4.2%																														
異食	0.6%																														
離脱	0.6%																														
トラブル	0.0%																														
車両	0.0%																														
紛失	0.0%																														
盗難	0.0%																														
自傷	0.0%																														
破壊	0.3%																														
その他...	12.7%																														

	時間別事故件数 全 308 件 <table border="1"> <caption>時間別事故件数 (全 308 件)</caption> <thead> <tr> <th>時間帯</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0:00~5:59</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>6:00~11:59</td> <td>42.3%</td> </tr> <tr> <td>12:00~17:59</td> <td>31.3%</td> </tr> <tr> <td>18:00~23:59</td> <td>19.3%</td> </tr> </tbody> </table> 《人権擁護担当》 ・外部講師をお招きし、人権擁護や権利擁護に関する研修を行う事が出来ました。	時間帯	割合	0:00~5:59	9.7%	6:00~11:59	42.3%	12:00~17:59	31.3%	18:00~23:59	19.3%
時間帯	割合										
0:00~5:59	9.7%										
6:00~11:59	42.3%										
12:00~17:59	31.3%										
18:00~23:59	19.3%										
反省点と要因	今年度苦情に関しては 18 件挙がっているが、苦情に関する報告は挙がっているものの、その後の聞き取りや原因の特定、再発防止策の検討や実行のスピードが遅く、かつ苦情解決第三者委員との連携が十分でなかった。事故関連については事故に繋がる可能性があるヒヤリハットの吸い上げを目標としていたがヒヤリハット増加には至らなかった。人権擁護としては委員会発信で全職員にご利用者への対応や尊厳を守るケアを周知できなかった。										
次年度課題	《苦情解決担当》 苦情対応フローチャートに基づいた対応を行います。また苦情の未然防止のためのプログラムに基づいた研修を継続的に実施いたします。 《事故防止担当》 事故報告書及びヒヤリハット報告書から得たケースを分析し、同様の事故発生を未然に防止します。 《人権擁護担当》 ご利用者の尊厳を守るケアを行います。										
次年度の取り組み	《苦情解決担当》 苦情の内容を明確にし、階やユニットに限らずに施設全体で捉える事により内容が重複した苦情を防げるように努めます。また、苦情解決第三者委員会を定期的開催し、苦情内容や有効的解決策を検討及び実施します。 《事故防止担当》 委員会の定期的な開催で月次報告を行い、事故発生件数や要因、対応策を周知し、事故発生予防に努めます。また、個々の事故に関して再発予防に向けたカンファレンスを行い、実際に起こった時間帯や環境、介護方法を再現することにより、有効的な再発防止策を実施します。 《人権擁護担当》 ご利用者に対しての不適切なケアがないかどうかのチェック体制を構築します。ご利用者のプライバシーを守るケアが出来るよう研修を行い、知識を高め										

	ます。不適切と思われるケアの早期発見に努め、適切なケアを指導します。
--	------------------------------------

(4) 総務委員会

ア 防災

平成28年度目標	・全職員の防災意識向上を目標とし、その都度、総務委員会を通じて普段から「備え」の大切さを発信し働きかけていきます。
取り組み評価	・平成28年度5月に起震車にて「東日本大震災級のM7」（三陸地方での地震）の揺れを職員が体験し改めて大地震の恐さを考えることができた。またその際に地域住民にも声をかけ、僅かな人数であるが参加者を得ることが出来た。また、地域の自治会主催の防災訓練が大和東小学校であり当施設からも職員が参加した。 ・消火訓練を2回、避難訓練を2回、土嚢積み訓練を1回年間通じて行った。 ・8月22日（月）午前中、台風接近に伴い境川氾濫の危険が発生したため、1階の利用者を2階へ避難させ施設正面のスロープに土嚢を積み上げ浸水を予防出来た事は普段からの意識と訓練の賜物である。 ・「甲種防火管理者」資格取得のため4名の幹部職員が受講し取得した。
反省点と要因	・夜間想定総合訓練の際に担当職員数名が慌ててしまっ出て出火想定居室や隣接居室の扉を閉め忘れてしまい戻ることがあった。 - また消防本部への通報訓練では、施設の所在地が直ぐに言えなかったため指導を受けた。 ・3月に職員の防災研修として「ル・リアン ふかみにて起こりうる災害」というテーマで研修会を開催したが、なかなか出席者が揃わなかった。
次年度課題	・上記の夜間想定総合訓練の件を踏まえ冷静に行動出来るように普段の委員会活動の中でもその都度、確認励行をしなくてはならない。 ・職員の防災研修や各種訓練を通じて意識の向上につなげなくてはならない。 ・新年度も防火管理者講習に参加して資格取得者増に努めたい。
次年度の取り組み	・定期的に館内の巡回を実施し、建物内安全に努めます。 ・夜間想定総合訓練、消火訓練、起震車による地震体験等、実体験を通じての重要性を伝え、日頃から、「万が一？」の時に備え、考え準備する機会を作っていきます。 ・天気予報を注視し、台風や局地的集中豪雨による境川の増水、大雪等の対策に努め、職員にその都度情報を発信し対策を立てていきます

イ 物品

平成28年度目標	・毎月棚卸しを確実にを行い、物品（消耗品）の不足が無いよう管理していきます。
取り組み評価	・毎月、月末に棚卸しを実施し不足物品が無いように委員会を通じて各ユニットへ働きかけを行うことができました。
反省点と要因	・月初めの電気ポットのクエン酸による洗浄や、洗濯槽のクリーニングを時々忘れてしまった。委員が月初めの夜勤でないと全体的に伝わらない事が多かった。
次年度課題	・上記の件を踏まえて、毎月実施が出来るよう促していきます。
次年度の取り組み	・毎月の物品（消耗品）棚卸しの確実な実施。 ・必要な物品の選定等を毎月の総務委員会の中で提案及び検討していきます。

(5) 施設活動委員会

ア 研修

平成28年度目標	①内部研修を充実させ、職員全体の援助技術及び知識の向上に取り組んでいきます。 ②階層別研修を取り入れていきます。 ③外部研修にも接虚構的に参加していきます。 ④外部からの実習生を積極的に受け入れていきます。
取り組み評価	① 概ね内部研修を開催する事ができました。 ② 各ユニットに応じた研修を組み込んでいきました。 ③ ユニットリーダーを中心に概ね達成できました。 ④ 概ね達成できました。
反省点と要因	① 開催はできましたが参加人数が少ないことが見られました。 ② 人員不足により時間を作れず研修を開く事ができませんでした ③ 外部研修に参加した職員によるフィードバック研修がなかなか行えていません。 ④ 実習生を指導できる職員が少ない現実があります。
次年度課題	・参加人数を増やせるように、シフトの調整や職員の自己研鑽の意識を高めていきます。 ・今年度にできなかったフィードバック研修を、次年度に開催できるように調整していきます。 ・実習生を指導できる職員を育てていきます。 ・外部などの研修に参加したい職員を積極的に参加できるようにしていきます。
次年度の取り組み	・次年度の取り組みとして、受ける側だけでなく、教える側の職員として、2ユニット毎の介護職員で研修を開催することを目標にします。

平成 28 年度研修実績

研修種別	研修内容	参加者
【内部研修】 4 月 5 日 「褥瘡・体交・ボディメカニクス研修」 講師：片桐春美 林智美	褥瘡・体交・ボディメカニクス研修 講義・実践	施設職員 14 名参加
5 月 24 日 「褥瘡・体交・ボディメカニクス研修」 講師：片桐春美 林智美	褥瘡・体交・ボディメカニクス研修 講義・実践	施設職員 13 名参加
5 月 26 日 「認知症ケア研修」 講師：篠崎宏幸 宮尚隆	四大認知症の説明 グループワーク	施設職員 10 名
5 月 27 日 「褥瘡・体交・ボディメカニクス研修」 講師：片桐春美 林智美	褥瘡・体交・ボディメカニクス研修 講義・実践	施設職員 9 名
5 月 31 日 「オムツ研修」 講師：榎光洋	商品説明 オムツ・パットの当て方	施設職員 23 名
6 月 13 日 「認知症ケア研修」 講師：篠崎宏幸 宮尚隆	四大認知症の説明 グループワーク	施設職員 9 名
6 月 22 日 「食中毒研修」	食中毒についての座学、講義	施設職員 12 名

講師：井内管理栄養士	ユニットでの衛生管理の再確認	
6月27日 「口腔ケアの実践 研修」 講師：三國歯科医師	三國歯科医師による口腔ケアの実践	施設職員 17 名
6月28日 「認知症ケア研修」 講師：篠崎宏幸 宮尚隆	四大認知症の説明 グループワーク	施設職員 7 名
7月13日 「摂食・嚥下について」 講師：弘中祥司教授	摂食・嚥下について	施設職員 30 名 事業所関係 5 名 一般参加者 7 名
8月20日 「在宅酸素取り扱い講習会」 講師：原野メディカル	ボンベの取り扱い方 警告音の原因 在宅酸素の主な取り扱い方	施設職員 7 名
9月23, 26, 28日 「24時間プランについて」 講師：杉本介護課長	24時間プランについて 施設プランと24時間プランの関連性及び作成サイクル等について研修を実施	施設職員 23 名
10月30日 「防災研修」 講師：大和市消防本部予防課・松井氏 加賀氏 ヤマトプロテック(株)、富士見産業(株)	夜間想定避難訓練	施設職員 5 名
11月22日 「事故予防研修」 講師：望月和樹 小泉亜希子	事故発生予防・再発予防・発生時緊急対応	施設職員 5 名

12月12日 「人権・権利擁護研修」 講師：梅田滋氏	高齢者の権利を擁護する	施設職員 14 名
2月28日 「看取りケア・精神的ケア研修」 講師：酒井涼子 宇佐美由香	看取りケア、精神的ケアについて	施設職員 6 名
3月23日 「防災研修」 講師：多田宏之	ル・リアンふかみにて起こりうる災害	施設職員 15 名
【外部研修】 5月14日 「楽しく話そう回想法 回想法によるコミュニケーション技術」 主催：大和市協働事業者 社会福祉士の会 やまと	「認知症と回想法」思い出を生きる力に ・テキスト及びビデオ鑑賞 ・個人回想法(個人を対象に1対1)	篠崎宏幸
5月25日 「平成28年度給食施設講習会」 講師：保健福祉課 管理栄養士	介護保険施設における在宅高齢者に対する栄養・食生活支援の状況について	井内澄子
5月25日 「防火管理・防災管理講習」 主催：神奈川県消防設備安全協会	防火管理の意義と制度	宮尚隆

6月2日 「かながわ高齢者福祉研究発表会」 主催：社会福祉法人 神奈川県社会福祉評議会 施設部会 老人福祉施設協議会 かながわ高齢者福祉研究発表会	研究発表	植松佑人 松永幸子 古橋拓巳 大平喜巳
6月7日 「神奈川県の保健福祉行政について」 主催：神奈川高齢施設協議会	神奈川県の保健福祉行政について 介護分野の最近の動向	小泉昇
7月7日 「オーラル・フレイル対応力研修」 主催：神奈川県歯科医師会	「オーラル・フレイル」から考えるフレイル予防アプローチ 歯科医師会が「オーラル・フレイル」をどのように盛り上げるのか 神奈川県からのエビデンス発信	小泉昇（施設長研修）
6月15日 「平成28年度給食施設栄養管理講習会」 主催者：保健福祉課 管理栄養士 食品衛生課 食品衛生監視員	日本食品標準成分表2015年度版の活用 給食施設の衛生管理について	井内澄子
6月30日 「平成28年度防火実務研修会」 主催：大和市消防本部予防課	過去の事例から学ぶ防火管理 消防設備等の仕組みと操作方法 夜間火災発生時の対応シュミレーション 救命救急講習	植松佑人 小泉亜希子

7月7日 9月30日 10月4日 11月27日 1月12日 2月1日 「上級救命講習」 主催：大和市消防本部	講義・基礎知識 実習・三角巾の使用法 気道異物の除去 心肺蘇生法 AEDの使用法	篠崎宏幸 植松佑人 宇佐美由香 宮尚隆 松永幸子 望月和樹 堀真由美 酒井涼子 植松恵人 佐藤辰也 足立翔平 市川浩之
7月13日 8月22日 9月26日 「介護福祉士ファストステップ研修」 主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会	家族や地域の支援力の活用の強化 観察記録の適格性とチームケアへの展開 セーフティーマネジメント	植松佑人 望月和樹
8月4日 5日 「福祉職員キャリアパス対応障害研修課程チームリーダーコース」 主催：神奈川県社会福祉協議会	基軸科目の講義と演習 基礎科目の講義と演習 重点科目の講義と演習 啓発科目の講義と演習	酒井涼子
9月8日 「栄養士(管理栄養士)研修会」 主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会	傾向維持加算の仕組、手順と方法 意見交換による他施設の状況	井内澄子
11月10日 「平成28年度給食栄養管理講習会」 主催：厚木保険福祉事務所 大和センター 保健福祉課	地域連携媒体の作成および活用について 栄養管理・食事提供に関する訴訟事例について 介護保険施設における実地研修の実施について	井内澄子

11月10日 「高齢者虐待・不適切なケアを防ぐための権利擁護の実践について」 主催：公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会	高齢者虐待・不適切なケアを防ぐための 権利擁護の実践について	人見伸吾
1月23日 「改正社会福祉法対応 セミナー」 主催： 浜銀総合研 究所	改正社会福祉法の概要	小泉昇
2月21日 「平成28年度地域 保健活動推進研 修」 主催：厚木保険福祉 事務所 大和セン ター 保健福祉課	フードバンクの現場からみえる栄養・食 生活～フードロス・貧困の現状・課題～	井内澄子

イ 行事企画

平成28年度目標	・昨年度実施した夏祭りをベースに、地域（自治体、学校、他施設）との交流をより深めていけるようにアプローチをしていきます。 ・年間行事をベースに、ご利用者に季節を感じていただけるような行事を企画していきます。
取り組み評価	・夏祭り、バザーを通して、地域の方や学校関連の方々にボランティアに参加していただき、交流を深めることが出来ました。 ・季節感のある行事を企画し、概ね達成できました。
反省点と要因	・企画、各部署へのアプローチがスムーズに行かず、混乱を招くことがありました。
次年度課題	・企画書の早めの提出を心掛けていきます。また、委員会に他職種に参加してもらい、伝達が円滑に進むようにしていきます。

ウ ボランティア活動

日 程	内 容
毎月第3火曜日	習字クラブ（計12回）
毎月第4火曜日	お花クラブ（計12回）
不定期 （個人ボランティア）	傾聴ボランティア（月1～2回） 縫い物ボランティア（4月～12月の月1回） 園芸ボランティア
不定期（慰問）	きらきらみっちゃん（4/20、8/6） ハッピーカムカム 南京玉すだれ（4/30） 実鈴会（4/16、1/21） 落語（4/17） ウクレレ（4/24、5/22、6/26、7/24、8/6） ハンドエステ（7/21） 東野中和太鼓部（8/6） 林連お囃子（8/6、1/3） 折り紙教室（8/24） フラダンス（12/11、8/6） 尺八・三味線（1/22）
その他	夢の会（2/25） 夏祭り（福祉系学校生徒、栄眞学園生徒、教員 計39名）

4 職員関係

(1) 職種別配置構成

平成28年3月31日現在

区 分		常 勤	非 常 勤	計
施 設 長		1		1
総 務 課		3	6	9
介 護 課		31	25	56
医 務 課	看護師	4	4	8
	嘱託医師		3	3
栄 養 課	管理栄養士	1		1
	調理員			
相 談 課	介護支援専門員	5（兼務）		
	機能訓練指導員	1		1
	相談員	3		3
計				82

*総務課 非常勤 管理職者、清掃ワーカーを含む（ ）内は派遣職員

(2) 資格取得構成

平成29年3月31日現在

区 分	常 勤		非 常 勤		計
	男	女	男	女	
介護福祉士	12	12	3	3	30
初任者資格	8	7		6	21
実務者研修資格	1	3		1	5
医師及び歯科医師			2	1	3
看護師		2		1	3
准看護師		2		3	5
社会福祉士	1				1
社会福祉主事	8				8
介護支援専門員	5			3	8
管理栄養士		1			1
理学療法士		1			1
柔道整復師	1				1

(3) 実習・見学・講師派遣関係

<見学>

*以下の団体の見学の受け入れを行った。

依頼先	月	見学目的	参加者
大和市消防署	5月	大和市少年消防団見学	55名
大和東小学校	6月	2年生の職場見学	65名
大和市社会福祉士の会	7月	認知症サポーター講座	25名
日本国際協力センター	10月	外国籍就労見学	25名

<講師・委員派遣>

*以下の団体に職員を講師・委員して派遣した。

依頼団体	月	内容及び会場	派遣者名
介護労働安定センター	6月	実務者研修	小泉 昇
柏木学園	7月	初任者研修	小泉 昇
てらすケアカレッジ	7月	職業人講話	小泉 昇
神奈川福祉人材センター	8月	県央地区就職フェア	小泉 昇 杉本 薫
テラスけあカレッジ	8月	職業人講話	杉本 薫
柏木学園	9月	初任者研修	小泉 昇
大和商業高校福祉専攻	11月～2月	初任者研修	佐藤 辰也
柏木学園	11月	初任者研修	杉本 薫
テラスけあカレッジ	12月	職業人講話	杉本 薫
神奈川高齢者福祉協議会	12月	シニア初任者研修	小泉 昇
柏木学園	1月	初任者資格	杉本 薫
相模原市ケアハウス部会	2月	後見制度について	小泉 昇
柏木学園	2月	初任者資格	杉本 薫

<実習>

*以下の機関の実習を受け入れた。

実習期間	実習時期及び延人数	実習資格
柏木実業	4月12日～14日 6名	初任者資格
専修大学人間科学部	5月12日 1名	体験研修
神奈川県社会福祉協議会	10月15, 16日 1名	介護体験
柏木実業	12月12～14日 8名	初任者資格

神奈川事業者の会	3月1日、8日	4名	職業訓練
柏木実業	3月14日、15日	6名	初任者資格